



1119

KEICHIKU

2014年1月

No.

74

けいちくこういきけん
京築広域圏消防本部

広報

職場体験

吉富中学校



平成25年11月13日の児童防火標語審査会で平成26年管内児童防火標語が決定しました。豊前市内の10小学校の5年生を対象に244名が参加し、入選作品10篇と、優秀作品1篇が選ばれました。

審査の結果、豊前市立山田小学校5年生角田 桃太郎(すだももたろう)さんの作品が見事優秀に輝きました。

ポスターは管内の学校、店舗、各事業所などに配布され、年間火災予防を呼びかけます。



豊前市立山田小学校5年生
すだ ももたろう
角田 桃太郎さん

平成26年
管内児童防火標語が決定!
火は消そう
命の炎は大切に

年頭のあいさつ

消防団との連携強化と

「安全・安心」な地域づくりを目指して！



京築広域圏消防本部
消防長 谷中義信

平成二十六年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆さまにおかれましては、平素から当消防本部の消防行政の円滑な推進に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると、自然災害等を含め地域住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、不幸にして亡くなられた方々に対しましても、一日も早く元の生活に戻ることが出来ますようお祈りいたします。東日本大震災を機に、国民の「防災」に対する関心は年々高まっており、自治会や学校では消防に対し「防災講演会等」の依頼が増えてきている状況です。

また、いまだに被災地での不自由な生活を余儀なくされている方々に対しましても、一日も早く元の生活に戻ることが出来ますようお祈りいたします。東日本大震災を機に、国民の「防災」に対する関心は年々高まっており、自治会や学校では消防に対し「防災講演会等」の依頼が増えてきている状況です。

このような中、地域消防団との連携を一層深めながら、研修や訓練において消防に対する住民の期待に応えていく上で、組織として何が必要なのか、どのように地域に伝えていかを常に念頭に置き、災害に強い安全・安心な地域づくりを目指して努力してまいる所存でございます。

どうか、消防行政に対しましてご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、新年が平穡な年でありますように、皆様方のご健勝とご繁榮をお祈り申し上げまして、私の年頭のご挨拶いたします。



石油ストーブや電気製品火災に注意しましょう！

石油ストーブ

- ガソリンや不良灯油は絶対使用しないようにしましょう。
- 給油時は必ず消火し、火の氣のない所で給油し、タンクの口金を確実に締めましょう。
- 上面など高温部でのやけどに注意しましょう。
- 外出や寝る時は、必ず消火しましょう。消火の際は、確実に消えていることを確認しましょう。
- 機器の周囲や上に可燃物（洗濯物）を置かない（乾燥させない）ようにしましょう。
- 年頭のご挨拶とご繁栄をお祈り申し上げます。

電気火災

- プラグを時々抜き、清掃しましょう。
- 「束ね配線」「折り曲げ配線」をしないようにしましょう。
- 傷みや緩みのあるプラグは使わないようにしましょう。
- プラグはしっかりと差し込み使用しましょう。
- 日常使用しない器具は、プラグを抜いておきましょう。
- テーブルタップを使用するときは、電気容量を守りましょう。
- コードの上に家具等を置かないようにしましょう。



【トラッキング現象とは】

コンセントとプラグとの隙間に徐々にほこりが溜まり、湿気が加わると火花放電が繰り返し発生し火災に至る現象。

ヒートショックを防ぐための豆知識!

- ① 入浴は40度未満(ぬるめの湯)
- ② 長湯は避ける
- ③ 夕方など早めの時間での入浴
(冷え込む深夜は避ける)
- ④ 半身浴
(肩が寒いときはお湯で温めたタオルをかけるなどの工夫をする)



管内では11月中の
救急出動件数349件中
お風呂内での発生件数は14件です。
5名の方が亡くなられています。
(ヒートショックとは限りません)

救急講習のご案内

【普通救命講習】

- 講習内容 人工呼吸、心臓マッサージの方法
及び大出血時の止血方法の指導
近くの消防署、分署、出張所で受付
- 受付 無料
- 受講料 無料
- 講習時間 3時間
修了証書(3年間有効)を発行

【救急法講習】

- 講習内容 心肺蘇生法
近くの消防署、分署、出張所で受付
- 受付 無料
- 受講料 無料
- 講習時間 1時間程度

【救急講習に関する問い合わせ】

京築広域圏消防本部 警防課 救急係
☎ 0979-82-0119

命をつなぐ連携プレー

連載



5回目

応急手当

ヒートショック



ヒートショック 【温度の急変で身体がダメージを受けること】

冷凍倉庫内で作業後、急に真夏の炎天下に出たり、暖房の効いた部屋から寒い廊下に出ることで、身体が温度変化についていけず、血圧が変動し、意識消失などを起こします。

心筋梗塞や脳卒中の要因となることもあります。特に寒い時期の家庭内においては、廊下 トイレ 浴室 で起こることが多いので、部屋を暖めるなど、寒暖の差をなくしましょう。

第33回消防操法大会を開催

とき 平成25年10月16日(水) 場所 九州電力資料室前広場

14事業所15チームが参加。成績については、次のとおりです。

《最優秀賞》

- | | |
|------------|------------|
| ●屋外消火栓の部 | 大分製紙株豊前工場 |
| ●屋内消火栓の部 | 九州電力株豊前発電所 |
| ●2号屋内消火栓の部 | 社会福祉法人 恵光園 |

また、大会の休憩時間を利用し、今年度配備された煙体験ハウス(テント内に発煙機により煙を充満させ、火災時の煙を疑似体験する)の体験訓練を行い、体験した皆さんから「周りが見えなく本当に煙の怖さを感じ、貴重な体験をすることができました。今後も火災予防に努めていきたい。」との感想を頂きました。



操法大会



煙体験ハウス

火災建物内で負傷して倒れていた男性を救出

被表彰者／戸高 國弘さん(69歳)

築上町宇留津で発生した住宅火災で、家屋内で負傷して倒れていた男性を救助し、一命をとりとめることができました。この功労に対し、平成25年11月11日「秋の火災予防運動期間中」に、消防長から感謝状が贈されました。



写真左：築上町宇留津 戸高國弘さん

報告!

平成25年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練では、地震等の大規模災害を想定した実践的な部隊運用訓練を実施しました。

- 訓練日 11月26日(火)～28日(木)
- 集結場所 沖縄県本島南部
- 参加隊数 九州8県隊
- 参加消防本部 54消防本部(局)
- 全隊数 87隊
- 全隊員数 360人

京築広域圏消防本部から5名の隊員(谷中一之、松岡信二、鬼木宏彰、小野本透、奥本俊和)が参加しました。



職場体験學習 Report

平成25年9月18日・19日

吉富中学校3年生 男子生徒4名



職場体験を終えて…(感想文抜粹)

★最初は「僕が、命を救う仕事できるのかな」と思いました。いきなり声が出ていないと怒られたのもっとした。でも楽しんでいこうと思い、思い不安になりました。でも楽しく勉強をして優秀な消きり声を出しました。これから勉強をして消防士になりたいです。

(平野 玲さん)

★職場体験では、とても不安でした。一日目の救命や結索の体験は非常にためになりました。2日間とてもさく感じ、とても長く感じました。終わってみると反省点ばかりが浮かんできました。僕たちにはまだまだ時間ががあるので、2日間の反省を活かして消防士になりたいと思いました。

(奥本 竜さん)

★放水訓練や救命講習などいろいろなことを教えていただきました。最初は僕なんかにできるのか心配でした。でも丁寧にわかりやすく教えていただきました。この2日間で学んだことは将来社会に出たらきっと役に立つと思いました。

(三重野 真治さん)

★最初はすごく緊張していました。敬礼やあいさつの方を丁寧に教えていただきました。一番嬉しかったのは、救助体験訓練でロープを使って上まで上がることは、普通救命講習で学んだことは、いができたことです。普通救命講習で学んだことは、いざという時に人を助けられたらいいなと思いました。火事の時の煙の怖さも学びました。

(松本 龍成さん)

管内の中学校、高校の依頼により、毎年受け入れをしています。消防本部では「言葉づかい」「礼儀」「大きな声を出す」を主な指導方針として取り組んでいます。職場体験の学生さんは全員真剣に取り組んでいます。これから的人生の選択に役立ててほしいです。



昨年も各地で自然災害による甚大な被害が発生しました。私たち消防職員は、どのような災害時でも対応できる肉体と精神を鍛え、住民の生命、財産を守るために、日々努力を重ねています。今年もご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

広報紙やラジオ(スターコーンFM)による防災番組に対するご意見ご要望をお聞かせください。

編集後記

